富山県 身障者だより

発　行　所
一般社団法人
富山県身体障害者福祉協会
富山市安住町５－21
サンシップとやま３F
電　話　(076)432-6331
発　行　平成31年１月31日

第141号

新年のあいさつ

富山県厚生部障害福祉課長　**大村　政人**

新年明けましておめでとうございます。大きな節目を迎える平成31年の初春を富山県身体障害者福祉協会の皆様とともに寿ぎたいと存じます。

近年、障害のある方を取り巻く環境が大きく変化しており、国においては、障害の有無にかかわらず、全ての人々が地域、生きがいを共につくり、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けた施策が進められています。また、県でも、「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」などにより、障害の有無に関係なく、互いに人格と個性を尊重する社会の実現に向けて、障害者施策に取り組んでいるところです。

こうした中、貴協会には、日頃より、身体に障害のある方々の生活訓練事業やレクリエーション事業など、地域での福祉活動や社会参加活動にご尽力いただいております。

ここに、久々江会長をはじめ、会員の皆様のご努力に対し、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

貴協会には、今後とも、本県障害者福祉施策の推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が富山県身体障害者福祉協会にとりまして更なる飛躍の年となりますよう、また、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

12月定例理事会開催される

12月12日（水）に富山県民共生センターにおいて12月定例の第152回理事会が開催されました。主な議題として平成31年度の事業計画について意見が交わされました。ここでの意見は３月に行われる理事会・予算総会に反映される予定です。また、来年度秋田で行われる全国大会の日身連会長表彰には、入善町の杉田理事を推薦することが決められました。そして、来年度は協会の役員改選時期になっており、事務局から改選の手順について説明がされました。それから、久々江会長から12月５日に県厚生部へ要望書を提出したことの報告がなされたことを受けて、各理事から市町村協会の運営や会員減少対策等について様々な意見が出されました。さらに、平成29年度から検討を進めてきた定款・規程見直し検討委員会、分担金見直し検討委員会は、いったんこの理事会をもって解散することが確認されました。

第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会２０１８」

平成30年10月13日～　福井県営陸上競技場

第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会2018」の開会式が13日福井市の9.98スタジアム（県営陸上競技場）で行われ、３日間にわたる熱戦が幕を開けました。

式典には皇太子さまが臨席されました。各都道府県と政令指定都市の選手団が入場し、福井国体から引き継いだ「融合」の炬火が炬火台に点火され、福井県の選手が力強く選手宣誓し、15日までに３千人超の選手が12の正式競技に挑みました。

富山県選手団が団長 久々江 除作（富山県身体障害者福祉協会会長）をはじめ役員26名、選手31名の総数57名で６競技のべ58種目に出場しました。一生懸命果敢に挑戦し成果を出しました。

（１）メダル獲得数

金メダル11個　銀メダル15個　銅メダル７個　計33個（昨年21個）

種目	障害	出場者数	出場種目（のべ）	金	銀	銅
陸上	知的	7	18		2	1
	身体	7	14	4	7	
水泳	知的	2	4		1	2
	身体	2	4	2	1	1
アーチェリー	身体	1	1	1		
卓球	知的	2	2	1	1	
	身体	3	3	1	2	
フライングディスク	知的	2	4		1	1
	身体	3	6	2		2
ボウリング	知的	2	2			
計		31	58	11	15	7
（前回の愛媛大会）		23	43	10	10	1

富山県選手団は、たくさんの応援をいただき、県の壮行会各々の自治体の壮行会を開いてもらい大きな力にして戦いました。そして各都道府県の選手と友好の輪をつなぐことができ、福井県のボランティアの方々の暖かくやさしい対応に感動と感謝を覚えました。

強化練習をご指導して下さった先生方、福井国体出場にいろいろとご配慮下さった県の方々、役員の方々に御礼申し上げます。

この経験を大切に日々しっかりと精進していきたいと思っております。

福井国体参加者　嶋田　幸恵

次回大会

第19回 全国障害者スポーツ大会

「いきいき茨城ゆめ大会」

2019年10月12日（土）～
10月14日（月）

日身連中部ブロック　身体障害者相談員研修会

10月24～25日（一泊二日）にかけて、第22回中部ブロック身体障害者相談員研修会が名鉄ニューグランドホテル（名古屋市）に於いて開催され、富山県から久々江会長はじめ８名参加し研修を受けてきました。

初日は、午後２時より開会式があり主催者挨拶及び来賓祝辞の後、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活支援推進室障害福祉専門官「吉野　智」氏より「障害者の高齢対策について～共生型福祉サービスについて」というテーマで講義がありました。障害者総合支援法が平成28年５月25日改正され、平成30年４月１日から新たな福祉サービスがスタートしています。その中において問題となっていた介護保険と障害者福祉制度にまたがる「共生型福祉サービス」をはじめ、最新の障害者福祉施策についてスライドを用いて説明がありましたが、障害者一人ひとりが障害の程度、年齢、所得など生活環境がまちまちであり理解するのに相当時間を要するのではないかと感じました。

その後、休憩をはさみ社会福祉法人愛知いのちの電話協会事務局長「兼田智彦」氏より「人に寄り添う相談をめざして《ロールプレイで傾聴を体験》」という内容で会場との意見交換を交えたグループワーク講演を行いました。このロールプレイは、障害別、他団体別に分かれ三人一組（悩みを話す方・悩みを聞く方・聴く方の話の善し悪しを判断する方）で交替でグループワークを行いました。（事前に座席を障害別、団体別に縦に配置されており、両隣には他県の参加者が着席するよう配慮されていました。）このグループワークは戸惑いもありましたがいつのまにか三人は打ち融けていました。兼田事務局長からは、「相談員は信頼関係が基本。一生懸命になりすぎて善意を押し売らないようにして頂きたい」とのことであり聴くことの難しさを感じました。

二日目は、９時30分より名古屋市障害者差別相談センター長「神村昌克」氏より「センターの相談内容とその対応について」というテーマで障害者差別解消法の概要やセンターで対応した相談事例の紹介があり、障害がない方には中々理解してもらえないことが多くあり障害があることをわが身に置き換えて対応してほしいとのことでした。

その後、休憩をはさみ日身連中部ブロック会からの報告後、次期開催地である三重県障害者団体連合会会長「世古佳清」氏より挨拶があり11時30分閉会となりました。

お知らせ

日身連中部ブロック 身体障害者相談員研修会

日時：10月23日（水）～24日（木）

場所：三重県

ねんりんピック富山２０１８協賛イベント
バリアフリー・ディスクゴルフ
富山大会in小矢部を振り返って

平成30年11月20日

日本障害者フライングディスク連盟公認
第２種指導者小矢部市身体障害者協会副会長　**髙　田　洋　信**

表題について、去る平成30年10月21日(日)小矢部市クロスランドおやべに於いて、バリアフリー・ディスクゴルフ富山大会in小矢部が、盛大に開催されました。しかし富山県では、バリアフリー・ディスクゴルフは余り知られていなく、体験した人もほとんどいなく、始めて開催されたように思われました。

さて、此のバリアフリー・ディスクゴルフ大会が、どうして小矢部市で開催されるようになったか、それは平成27年10月３日(土)～４日(日)に富山市で、フライングディク指導者養成講習会が開催された時、当時私は富山県身体障害者福祉協会の会長でありましたので、日本障害者フライングディスク連盟の苅安理事長が、「平成30年に富山県でねんりんピックが開催される、協賛事業としてバリアフリー・ディスクゴルフ大会を富山県で開催したい、協力いただける市長さんを探して紹介してほしい」と相談を受けました。これは二度とないチャンスだと判断して即了解しました。

年月が過ぎ小矢部市身体障害者協会では、強力な嶋田幸恵が会長に就任され、連絡調整し訪問された苅安理事長を小矢部市副市長に紹介し、バリアフリー・ディスクゴルフ大会を小矢部市で開催する希望を桜井小矢部市長に報告し、了解いただきました。

小矢部市のご理解とご協力により、バリアフリー・ディスクゴルフ大会の前に、練習が必要と４回の練習日を設定し、会場費は免除で提供を受けました。また小矢部市身体障害者協会だけでは人数が不足として、小矢部市は、長寿会やガールスカウト及び民生委員等各団体に声を掛けて頂き、高校生のボランティアなど多数の参加をいただきました。

バリアフリー・ディスクゴルフ富山大会in小矢部の開催に当たり、４回の練習日から開催当日までの長い間、富山県障害者フライングディスク協会の、金田理事長、津田第１種指導員等にご指導頂き、又大会当日は、富山県障害者スポーツ協会の恒川事務局長等や多数の審判員の方、事務局の方等にご協力いただき、本当にありがとうございました。

大会に参加された、長寿会、ガールスカウト、民生委員等各団体の方や、高校生、氷見市身体障害者協会、小矢部市身体障害者協会の方等多数の参加者に、感想を聞きました処、老若、男女、障害のある人も、無い人も、だれでも参加出来、非常に面白く楽しいものでした。

今後もこのような機会を続けてほしい、等の意見が多くありました。

小矢部市身体障害者協会で検討致しました結果、ねんりんピック富山2018協賛事業バリアフリー・ディスクゴルフ富山大会in小矢部の開催記念事業として、「だれでも参加フライングディスク」を継続して頂くように、小矢部市に要望致しましたところ、ご理解をいただき、助成金とご協力のご了解を頂きました。

平成31年度以降実施計画の予定として「だれでも参加フライングディスク」を市の委託事業として、老若、男女、障害のある人も、無い人も、だれでも参加を呼び掛け、小矢部市共生社会実現事業を目指して頑張る予定です。有難うございました。

県厚生部へ要望書を提出する

平成30年12月５日(水)に久々江会長ほか西野副会長、池田副会長、嶋田事務局長、杉田理事が県庁の厚生部に出かけて行き、前田厚生部長へ要望書を提出しました。要望書の内容は以下の通りです。

要 望 事 項

１．障害者雇用水増しについて

障害者雇用促進水増し問題に関して、障害当事者団体にその原因を明らかにしたうえで、法律の主旨に則り、再発防止、障害者雇用枠の拡大に向けて早急な対策を講じていただくようお願いします。

２．県の福祉バスについて

- 昨年は急に予想外に多くの降雪があり除雪対応に追われました。中古でもよいので、小型除雪機１台を配備していただければよいと思います。
- 現在のバスに対して、車庫は天井が低いため、毎回バスを低床にした状態で入出庫を行う必要があり苦慮している状況です。車庫の整備をお願いします。

３．県条例への対応について

障害者差別解消法と同時に富山県条例が施行されていますが、まだまだこれらの法律や条例については十分に浸透していない現状があります。障害特性の理解に向け、「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つ全ての人々が相互に理解を深めようとコミュニケーションを取り支え合うことです。教員への障害者理解に関する研修を行い、企業では接遇ということで「心のバリアフリー」や「障害者理解」に十分に取り組み、障害のある人もない人も活躍しやすい働きやすい共生社会の実現に取り組んでいただくようお願いします。

４．県防災訓練と福祉避難所について

防災意識の高まりとともに富山県でも防災訓練が毎年実施されていますが、障害者に対応した防災訓練や障害者など特別な配慮を必要とする方を対象とする福祉避難所の充実をお願いします。

５．障害者協会の福祉活動について

市町村障害者協会では、障害者が毎年増えているにもかかわらず新規会員は増えず、高齢化により会員数が減少しており会の運営や福祉活動に支障が出てきている状況です。個人情報保護により障害者手帳取得者の情報は難しいと思われますが、会の会員数を維持し障害者福祉活動が衰退していかないよう強く要望します。

（石井知事さんに障害者の現状を知っていただきたく、年に一回の「語る会」を希望します。）

「第32回 富山県身体障害者福祉大会」開催される

12月８日、立山町民会館において、「富山県身体障害者福祉大会」が開催され、約250人が参加しました。

この大会は、国が定めた12月３日から９日までの障害者週間にあわせて開催されているもので、今回は第32回となります。

大会長挨拶で久々江会長は「障害のある人もない人も互いの人権を尊重する共生社会の実現のために、広く県民の理解と認識を深めていきたい」と述べました。身障者福祉に貢献した８名の方が表彰され、代表して長瀬知子さん（立山町）が「表彰を励みにしてこれからも微力ながら努力したい」と謝辞を述べました。富山県厚生部長代理（市村次長）、舟橋貴之立山町長、村田昭立山町議会議長、亀山県議会議員の来賓祝辞を受けたあと、富山県が募集した「心の輪を広げる体験作文」の最優秀賞に選ばれた作品を本多優月さん（射水市立大島小学校５年）、灰庭愛結さん（富山市立岩瀬中学校３年）、村井優希乃さん（富山県立南砺福野高校３年）が朗読しました。アトラクションとして雄山中学校吹奏楽部の生徒による演奏が行われ、おおきな感動を与えました。

表彰された皆様

立山町	長瀬　知子	
富山市	五十嵐　興進	（婦中）
射水市	林　　俊則	（新湊）
氷見市	髙木　陽子	
砺波市	吉田　隆信	
小矢部市	澤田　與治	
	角田　嘉夫	
滑川市	柿澤　　實	

（順不同・敬称略）

次回大会

第33回　富山県身体障害者福祉大会

日時：2019年12月７日（土）午前10時から

場所：富山市安住町 サンシップとやま 福祉ホール

障害女性健康指導教室開催される

平成30年度の県の委託事業（生活訓練事業）として障害女性健康指導教室が開催されました。１回目は10月３日(水)に高岡市のホテルニューオータニ高岡においてテーブルマナー教室、２回目は12月16日(日)に小矢部総合会館において料理教室、３回目は12月24日(月)に富山市のサンシップとやまにおいてフラワーアレンジメント教室が行われました。それぞれの教室では各市町村協会から、テーブルマナー教室は28名、料理教室は20名、フラワーアレンジメント教室は43名の方が参加して実施されました。各教室ではそれぞれの生活技能を学ぶだけでなく、各人がお洒落して仲間を誘い合って外出しておしゃべりをするよい機会にもなりました。（社会参加）

リボン運動☆みなさんはいくつ知っていますか？？

社会運動や難病に対して、世界で統一した色のリボンを身につけ、支援を表明するために身につけるアイテムを"アウェアネス・リボン"と言います。アウェアネスとは、気付き・認識という意味です。

そして、身につけたりブログに載せたりして周囲に理解と支援を広めようとすることがボランティア活動にもなります。

パズルリボン

★自閉症児への理解とその家族への支援★

一つひとつ違い、たった一つなくなっても作品にはならず、すべて必要なものであるパズルのピーズのように、人間も一人ひとり人柄や性格が違うなか、必要のない人は一人もいないという意味が込められています。山口県出身の金子みすずの詩「わたしと小鳥とすずと」の中の"みんなちがってみんないい"という有名なフレーズもその部類のように思います。ちなみに、パズルリボンはリボンでなくてもジグゾーで作られたものなら何でも意味をもつようです。

★世界自閉症啓発デー★

４月２日は世界自閉症啓発デーということで、世界全土で自閉症への理解を啓発する運動が行われる日です。

リボンの色と意味	
1 イエロー	障害者の自立
2 オレンジ	児童虐待
3 シルバー	発達障害
4 パズルリボン	自閉症
5 ピンク	乳がん
6 ホワイト	妊産婦の命を守る
7 きみどり	親子の絆
8 透明	見えない障害
9 うぐいすリボン	表現の自由
10 そら色	性同一性障害
11 レインボー	同性愛
12 ゴールド	小児がん
13 グリーン	移植医療普及
14 レッド	エイズ
15 ブラウン	北方領土返還・禁煙
16 ティール＆ホワイト	子宮頸がん
17 ブラック	哀悼・ネット上の自由
18 フラグリボン	9.11の犠牲者へ
19 パープル	女性に対する暴力根絶
20 ブルー	拉致問題

リボンの種類は他にもあります。

広告ありがとうございました。

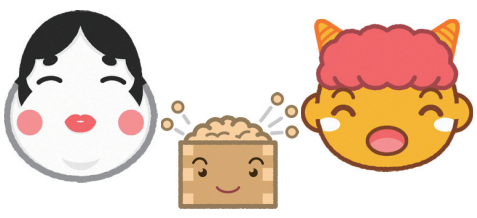
“歩く”
歩きやすさを追求した 靴・インソール
快適に！
“聴く”
聞こえの世界が広がる 補聴器

快適に歩く・聴く をサポートします！
㈱富山県義肢製作所
富山県補聴器センター
〒930-0042 富山市泉町1-2-16
TEL 076-425-4279 FAX 076-425-4587
E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp
URL https://www.tpo-morita.com

介護用品・福祉用具 レンタル 販売 ・医療用具・住宅改修
ケアパートナー 三ツ葉
〒932-0134　富山県小矢部市平桜６２６５番地
TEL：0766-69-7328

TGT
あなたの旅のアドバイザー
富山地鉄㈱業務提携　富山県知事登録第３-206号
(有) 富山呉西トラベル
本　　社　〒934－0027　富山県射水市中新湊９－24
TEL(0766)82－2407　FAX(0766)82－2655
小杉営業所　〒939－0341　富山県射水市三ヶ4044－1
TEL(0766)55－2711　FAX(0766)55－3033

越中 庄川荘

日本の名湯
金太郎温泉

立山国際ホテル